

神奈川県の中世遺跡（５）

－かわらけの検討Ⅰ－

中世研究プロジェクトチーム

はじめに

これまで、本プロジェクトチームでは、中世の中心である鎌倉市、小田原市以外の県内の中世遺跡の発掘調査報告の集成を行ってきた。現在も県央部では発掘調査が盛んに行われており、特に伊勢原市では多くの中世遺跡が発見され注目されている。県央部から県西部の地域では、中世資料の蓄積もここ数年で著しく増加している状況が見受けられる。

在地の中世を検討する上で重要な遺物は、かわらけであろう。鎌倉と小田原では、かわらけの出土量も多く、これまで数多くの編年案や破片数量計測等が行われ、それぞれの歴史を検討する上で重要な役割を果たしている。一方、この２地域を除く県内では、服部の研究（服部1992など）が大きく寄与しているものの、全体的な出土量も少なく、研究は低調であった。本プロジェクトチームでも研究紀要2～7でかわらけの集成を行い、当時の成果をまとめている。この集成から約20年の時が経ち、今後の整理作業等に向けての準備として、追加の集成を行うことにしたい。

例 言

1. 神奈川県内の県央・県西地域については、明確な地域区分があるわけではない。今回は、厚木市の遺跡の一部を掲載する。
2. これまでの基礎データの集成に基づき抽出を行っているが、集成以降に刊行された書籍については、適宜検討に加えることにしている。文献番号は、研究紀要21の文献に対応する。
3. 研究紀要2～7で取り上げた遺跡については、計測表のみ掲載し、図版の掲載は行っていない。
4. 図版の掲載は、完形または復元により完形となりうる遺物を取り上げた。縮尺は1/3とした。
5. 計測表の項目は、以下のとおりである。
 - （１）成形：報告書に明記されていない場合は、図版や写真から推測している。
 - （２）寸法：口径×底径×器高を記載。復元等は（ ）で記した。報告書に記載がない場合は、図版の測量値を〔 〕で記した。手づくねの底径については、報告書に記載されている場合は、それを記した。
 - （３）残存状況：報告書に記されているとおりとした。
 - （４）年代：報告書に記載がある場合は記した。
 - （５）備考：型式の特徴や付着物等が記載されている場合は記した。

〔参考文献〕

- 服部実喜 1992「南武蔵・相模における中世の食器様相（１）－中世初頭の様相－」『神奈川考古』第28号
神奈川考古同人会
- 服部実喜 1994「南武蔵・相模における中世の食器様相（２）－中世前期の様相－」『神奈川考古』第30号
神奈川考古同人会
- 服部実喜 1995「南武蔵・相模における中世の食器様相（３）－中世後期の様相Ⅰ－」『神奈川考古』第31号
神奈川考古同人会
- 服部実喜 1995「南武蔵・相模における中世の食器様相（４）－中世後期の様相Ⅱ－」『神奈川考古』第32号
神奈川考古同人会

※その他のかわらけの参考文献は研究紀要7「神奈川県内の「かわらけ」集成(6)」に記載

中世研究プロジェクトチーム

第1表 かわらけ集成表（厚木市）

小野若宮遺跡（文献番号 厚木市1）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	図版82	—	—	—	—	—	写真のみ掲載。

曾野No.1 遺跡（文献番号 厚木市5）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	図24－2	1号溝 底部	ロクロ	5.4×6.4×1.6	1/2	16世紀	内底面に指頭によるナデ。戦国期の極小タイプ。
2	図25－6	遺構外	ロクロ	(6.0)×(3.6)×1.9	1/6	16世紀	内底面に指頭によるナデ。戦国期の極小タイプ。
3	図25－7	遺構外	ロクロ	(6.6)×(4.8)×2.2	1/4	16世紀	内底面に指頭によるナデ。戦国期の極小タイプ。

東町二番遺跡（文献番号 厚木市6）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第7図－1	第9～11遺構面一括	ロクロ	10.2×8.0×2.8	—	16世紀中	16世紀中頃まで糸切りとヘラ切り。
2	第7図－2	第9～11遺構面一括	ロクロ	(8.9)×(6.4)×3.0	—	16世紀中	16世紀中頃まで糸切りとヘラ切り。
3	第7図－3	第9～11遺構面一括	ロクロ	(9.7)×(6.5)×3.0	—	16世紀中	16世紀中頃まで糸切りとヘラ切り。
4	第7図－4	第9～11遺構面一括	ロクロ	(10.0)×(6.7)×2.6	—	16世紀中	16世紀中頃まで糸切りとヘラ切り。
5	第7図－5	第9～11遺構面一括	ロクロ	(10.5)×(7.8)×2.3	—	16世紀中	16世紀中頃まで糸切りとヘラ切り。
6	第7図－6	第9～11遺構面一括	ロクロ	9.5×7.5×2.2	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。内定面を幅の広い指頭のような痕跡。渦状凸形。
7	第7図－7	第9～11遺構面一括	ロクロ	(9.1)×6.6×2.5	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。内定面を細い棒状工具で整形。渦状凸形。
8	第7図－8	第9～11遺構面一括	ロクロ	9.5×7.3×2.1	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。内定面を幅の広い指頭のような痕跡。渦状凸形。
9	第7図－9	第9～11遺構面一括	ロクロ	(10.6)×(8.0)×2.2	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
10	第7図－10	第9～11遺構面一括	ロクロ	(10.0)×(7.9)×2.1	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
11	第7図－11	第9～11遺構面一括	ロクロ	(9.5)×(6.1)×2.6	—	16世紀後	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
12	第7図－12	第9～11遺構面一括	ロクロ	9.7×5.9×3.3	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
13	第7図－13	第9～11遺構面一括	ロクロ	(9.5)×(5.9)×3.1	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
14	第7図－14	第9～11遺構面一括	ロクロ	(10.3)×7.2×2.7	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
15	第7図－15	第9～11遺構面一括	ロクロ	10.1×7.4×2.4	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
16	第7図－16	第9～11遺構面一括	ロクロ	10.4×7.1×2.5	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。

神奈川県の中世遺跡（５）

17	第7図-17	第9～11遺構面一括	ロクロ	(8.6)×(5.1)×2.1	—	16世紀末	16世紀中頃以降はヘラ切りのみ認められる。
----	--------	------------	-----	-----------------	---	-------	-----------------------

愛甲宿遺跡第2地区（文献番号 厚木市9）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第41図-1	SX-07	ロクロ	12.2×7.2×2.8	1/3	14世紀代	
2	第43図-1	SD-03	ロクロ	7.8×6.2×2.2	2/3	15世紀代	灯明皿に転用。口唇部を片口に整形。
3	第49図-1	SX-02	ロクロ	7.2×4.0×1.8	完存	15世紀以降	灯明皿に転用。口唇部を片口に整形。

小野並木遺跡（文献番号 厚木市17）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	Fig. 5-4	遺構1	ロクロ	(6.0)×3.6×1.6	—	16世紀初頭～中頃	二次的焼成を受ける。
2	Fig. 8-5	第1期焼土層	ロクロ	(8.4)×(5.6)×2.5	—	16世紀初頭～中頃	スノコ痕が残る。
3	Fig. 8-6	第1期焼土層	ロクロ	(10.8)×(7.4)×3.2	—	16世紀初頭～中頃	
4	Fig. 8-7	第1期焼土層	ロクロ	口径(14.2)	口縁部破片	16世紀初頭～中頃	大型品。
5	Fig. 8-13	第1期遺構外	ロクロ	(6.8)×(5.0)×1.8	—	16世紀初頭～中頃	
6	Fig. 8-14	第1期遺構外	ロクロ	(8.2)×(6.5)×2.7	—	16世紀初頭～中頃	見込みがマウンド状に盛り上がる。口唇部にタール付着。宝永直下から出土。
7	Fig. 8-15	第1期遺構外	ロクロ	(8.0)×(6.9)×2.1	—	16世紀初頭～中頃	
8	Fig. 8-16	第1期遺構外	ロクロ	(8.8)×(5.6)×1.9	—	16世紀初頭～中頃	
9	Fig. 8-17	第1期遺構外	ロクロ	(9.2)×(4.8)×3.1	—	16世紀初頭～中頃	
10	Fig. 8-18	第1期遺構外	ロクロ	(10.8)×(7.0)×2.2	—	16世紀初頭～中頃	
11	Fig. 8-19	第1期遺構外	ロクロ	(11.4)×(7.4)×2.7	—	16世紀初頭～中頃	口唇部が外反。
12	Fig. 11-6	遺構141	ロクロ	6.4×4.1×2.1	完形	15世紀後半～16世紀初頭	スノコ痕が残る。
13	Fig. 11-7	遺構141	ロクロ	(6.5)×(3.9)×1.8	—	15世紀後半～16世紀初頭	
14	Fig. 11-8	遺構141	ロクロ	6.8×4.4×1.7	完形	15世紀後半～16世紀初頭	スノコ痕が残る。
15	Fig. 11-9	遺構141	ロクロ	7.5×5.4×2.1	完形	15世紀後半～16世紀初頭	
16	Fig. 11-10	遺構141	ロクロ	(8.2)×(3.4)×2.1	—	15世紀後半～16世紀初頭	
17	Fig. 11-11	遺構141	ロクロ	口径(10.8)	口縁部破片	15世紀後半～16世紀初頭	やや厚い。
18	Fig. 14-22	遺構129	ロクロ	(11.0)×(5.8)×3.1	—	15世紀後半～16世紀初頭	二次的焼成を受ける。

中世研究プロジェクトチーム

19	Fig. 15-3	第2期遺構外	ロクロ	$(6.2) \times (4.0) \times 1.8$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	スノコ痕が残る。
20	Fig. 15-4	第2期遺構外	ロクロ	$(6.8) \times (5.0) \times 1.7$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	
21	Fig. 15-5	第2期遺構外	ロクロ	$(6.6) \times (2.8) \times 2.1$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口縁部内外面にタール付着。
22	Fig. 15-6	第2期遺構外	ロクロ	$(7.6) \times (5.4) \times 2.1$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	二次的焼成を受ける。
23	Fig. 15-7	第2期遺構外	ロクロ	$7.8 \times 4.8 \times 2.3$	完形	15世紀後半～ 16世紀初頭	口縁部外反。口唇部にタール付着。
24	Fig. 15-8	第2期遺構外	ロクロ	$(7.8) \times (4.2) \times 2.2$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口縁部外反。体部内面最下位にタール付着。
25	Fig. 15-9	第2期遺構外	ロクロ	$7.8 \times 5.7 \times 2.3$	完形	15世紀後半～ 16世紀初頭	口唇部にタール付着。スノコ痕が残る。
26	Fig. 15-10	第2期遺構外	ロクロ	$9.9 \times 6.6 \times 2.7$	完形	15世紀後半～ 16世紀初頭	底部から体部にタール付着。
27	Fig. 15-11	第2期遺構外	ロクロ	$(9.8) \times (6.6) \times 2.3$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口唇部外反。底部から体部内面にタール付着。
28	Fig. 15-12	第2期遺構外	ロクロ	$(10.0) \times (4.6) \times 3.0$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口縁部外反。
29	Fig. 15-13	第2期遺構外	ロクロ	$(11.4) \times (7.0) \times 2.3$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口唇部外反。スノコ痕が残る。
30	Fig. 15-14	第2期遺構外	ロクロ	$(9.4) \times 4.2 \times 3.2$	—	15世紀後半～ 16世紀初頭	口唇部外反。
31	Fig. 15-15	第2期遺構外	ロクロ	口径(9.8)	口縁部破片	15世紀後半～ 16世紀初頭	
32	Fig. 15-16	第2期遺構外	ロクロ	口径(10.0)	口縁部破片	15世紀後半～ 16世紀初頭	

思名沖原遺跡（文献番号 厚木市19）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法 (cm)	残存状況	年代	備考
1	第416図－4	2号溝状遺構	ロクロ	$— \times 7.0 \times 1.4$	底部依存	13世紀中頃 ～中葉頃	スノコ痕が残る。
2	第416図－5	2号溝状遺構	ロクロ	$— \times 7.0 \times 1.5$	底部1/2	13世紀中頃 ～中葉頃	スノコ痕が残る。
3	第416図－6	2号溝状遺構	ロクロ	$(8.0) \times (7.1) \times 1.5$	1/4	13世紀中頃 ～中葉頃	
4	第416図－7	2号溝状遺構	ロクロ	$— \times 7.0 \times 1.0$	底部2/3	13世紀中頃 ～中葉頃	

中依知遺跡群（文献番号 厚木市21）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法 (cm)	残存状況	年代	備考
1	第34図－18	2号塚	ロクロ	$11.2 \times 6.8 \times 3.7$	4/5	16世紀以降	スノコ痕が残る。
2	第91図－3	A区遺構外	ロクロ	$5.8 \times 5.5 \times 2.0$	完形	16世紀以降	
3	第106図－7	A2号地下式坑	ロクロ	$4.8 \times 4.6 \times 1.5$	完形	16世紀以降	
4	第106図－8	A2号地下式坑	ロクロ	$(9.7) \times (7.8) \times 2.9$	1/8	16世紀以降	

神奈川県の中世遺跡（５）

5	第106図－9	A 2号地下式坑	ロクロ	(19.4)×(12.6)×4.4	1/10	16世紀以降	
---	---------	----------	-----	-------------------	------	--------	--

林北遺跡第3地点（文献番号 厚木市24）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	図1－1	試掘調査	ロクロ	7.6×5.2×2.5	1/2	16世紀	極小皿。
2	図1－2	試掘調査	ロクロ	8.1×5.1×2.7	1/2	16世紀	極小皿。
3	図1－3	試掘調査	ロクロ	(7.7)×(5.2)×2.1	1/3	16世紀	極小皿。
4	図1－4	試掘調査	ロクロ	10.2×8.0×2.6	1/2	16世紀	極小皿。
5	図16－1	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.2×4.6×1.5	完形	16世紀	極小皿。
6	図16－2	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.5×4.4×1.4	完形	16世紀	極小皿。
7	図16－3	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.2×4.2×1.7	完形	16世紀	極小皿。
8	図16－4	C 1号溝状土坑	ロクロ	4.7×4.1×1.9	完形	16世紀	極小皿。
9	図16－5	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.5×4.7×1.6	完形	16世紀	極小皿。
10	図16－6	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.0×4.1×1.6	完形	16世紀	極小皿。
11	図16－7	C 1号溝状土坑	ロクロ	4.9×4.2×1.9	完形	16世紀	極小皿。
12	図16－8	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.0×4.2×1.6	完形	16世紀	極小皿。
13	図16－9	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.3×4.4×1.5	完形	16世紀	極小皿。
14	図16－10	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.3×4.7×2.0	完形	16世紀	極小皿。
15	図16－11	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.5×4.1×2.0	完形	16世紀	極小皿。
16	図16－12	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.7×5.0×2.0	完形	16世紀	極小皿。
17	図16－13	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.9×4.3×1.9	完形	16世紀	極小皿。
18	図16－14	C 1号溝状土坑	ロクロ	6.0×5.2×1.6	完形	16世紀	極小皿。
19	図16－15	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.8×4.3×1.8	完形	16世紀	極小皿。
20	図16－16	C 1号溝状土坑	ロクロ	5.8×2.1×4.8	完形	16世紀	極小皿。
21	図16－17	C 1号溝状土坑	ロクロ	6.0×5.1×1.7	完形	16世紀	極小皿。
22	図16－18	C 1号溝状土坑	ロクロ	6.4×4.3×2.0	完形	16世紀	極小皿。
23	図16－19	C 1号溝状土坑	ロクロ	(6.8)×4.4×2.5	完形	16世紀	極小皿。

中世研究プロジェクトチーム

24	図16-20	C 1 号溝状土坑	ロクロ	7.4×5.5×2.4	完形	16世紀	極小皿。
25	図16-21	C 1 号溝状土坑	ロクロ	7.4×5.1×2.2	完形	16世紀	極小皿。
26	図16-22	C 1 号溝状土坑	ロクロ	7.6×6.0×2.6	完形	16世紀	極小皿。
27	図16-23	C 1 号溝状土坑	ロクロ	7.4×5.7×2.4	完形	16世紀	極小皿。
28	図16-24	C 1 号溝状土坑	ロクロ	(9.3)×6.0×2.6	完形	16世紀	小皿。
29	図16-25	C 1 号溝状土坑	ロクロ	(8.4)×(6.5)×2.7	完形	16世紀	小皿。
30	図16-26	C 1 号溝状土坑	ロクロ	9.5×6.7×2.8	完形	16世紀	小皿。
31	図16-27	C 1 号溝状土坑	ロクロ	9.8×7.2×2.7	完形	16世紀	小皿。
32	図16-28	C 1 号溝状土坑	ロクロ	7.8×6.0×3.0	完形	16世紀	小皿。
33	図16-29	C 1 号溝状土坑	ロクロ	9.3×2.7×6.6	完形	16世紀	小皿。
34	図16-30	C 1 号溝状土坑	ロクロ	8.8×6.6×3.0	完形	16世紀	小皿。
35	図16-31	C 1 号溝状土坑	ロクロ	(8.7)×6.2×3.2	完形	16世紀	中皿。
36	図16-32	C 1 号溝状土坑	ロクロ	(9.7)×6.4×3.3	完形	16世紀	中皿。
37	図18-1	C 1 号溝状遺構	ロクロ	(6.9)×(5.0)×2.3	1/2	16世紀	小皿。
38	図18-2	C 1 号溝状遺構	ロクロ	(6.9)×(4.8)×2.3	1/4	16世紀	小皿。
39	図18-3	C 1 号溝状遺構	ロクロ	(9.2)×6.3×3.0	1/2	16世紀	中皿。
40	図18-4	C 1 号溝状遺構	ロクロ	(8.1)×(5.2)×3.0	1/4	16世紀	中皿。

及川宮ノ下遺跡（文献番号 厚木市98）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法 (cm)	残存状況	年代	備考
1	第61図-1	第1号住居址	ロクロ	(8.0)×(6.1)×1.7	1/2	—	
2	第61図-2	第1号住居址	ロクロ	(7.8)×6.2×1.8	2/3	—	
3	第61図-3	第1号住居址	ロクロ	9.0×7.1×1.6	ほぼ完形	—	
4	第61図-4	第1号住居址	ロクロ	8.3×6.1×1.9	3/4	—	
5	第61図-5	第1号住居址	ロクロ	8.8×7.0×2.1	3/4	—	
6	第109図C-1-1	積石	ロクロ	(8.9)×(6.0)×2.9	—	—	内外面すず状付着物。
7	第109図C-1-2	積石	ロクロ	(9.0)×(5.0)×2.5	—	—	

神奈川県の中世遺跡（５）

8	第109図C-1-3	積石	ロクロ	(9.0)×(6.0)×3.1	—	—	内外面すす状付着物。
9	第109図C-1-4	積石	ロクロ	—×(5.0)×—	—	—	
10	第109図C-1-5	積石	ロクロ	7.5×5.4×1.7	—	—	内面すす状付着物。

及川柳流遺跡（文献番号 厚木市99）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第34図－91	第1区	ロクロ	7.5×5.0×2.0	完形	—	
2	第34図－92	第1区	ロクロ	5.6×5.0×1.5	完形	—	
3	第34図－93	第1区	ロクロ	(8.0)×4.1×2.0	1/2	—	
4	第34図－94	第1区	ロクロ	(7.0)×4.1×2.0	1/2	—	

妻田中村遺跡（文献番号 厚木市100）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第18図－7	S X－0 2	ロクロ	(8.2)×(6.2)×1.6	小片	—	
2	第18図－8	S X－0 2	ロクロ	(9.2)×(6.4)×1.8	小片	—	
3	第27図－6	遺構外	ロクロ	8.0×5.2×1.8	完形	—	

七沢神出遺跡（文献番号 厚木市102）

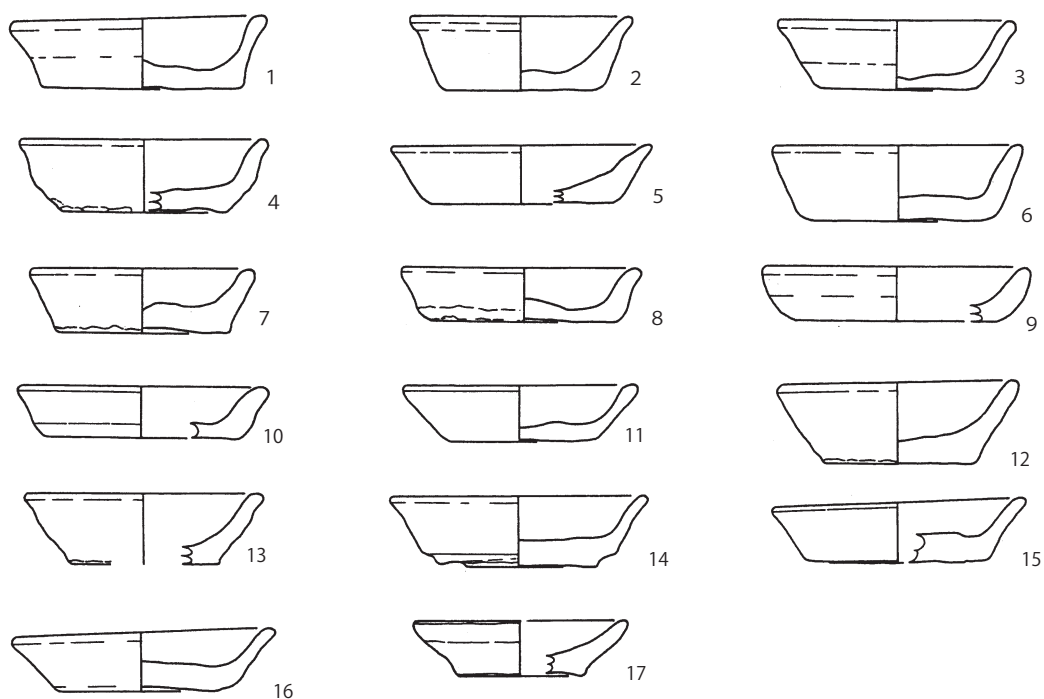
番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第7図－4	排水溝施設	ロクロ	11.0×7.4×3.7	—	—	
2	第10図－3	1号竪穴状遺構	ロクロ	11.7×7.6×3.9	—	—	
3	第10図－4	1号竪穴状遺構	ロクロ	—×7.4×1.8	—	—	
4	第19図－2	遺構外	ロクロ	12.6×7.6×3.8	—	—	
5	第19図－3	遺構外	ロクロ	12.0×7.8×3.4	—	—	
6	第19図－4	遺構外	ロクロ	9.8×7.2×2.5	—	—	

温水高坪遺跡（文献番号 厚木市103）

番号	報告書図番号	出土位置	かわらけ				
			成形	寸法（cm）	残存状況	年代	備考
1	第266図	第2地点	ロクロ	(9.1)×5.2×2.6	一部欠損	—	

東町二番遺跡

第9～11遺構面一括



愛甲宿遺跡 第2地区

SX-07



SD-03



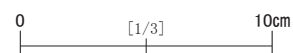
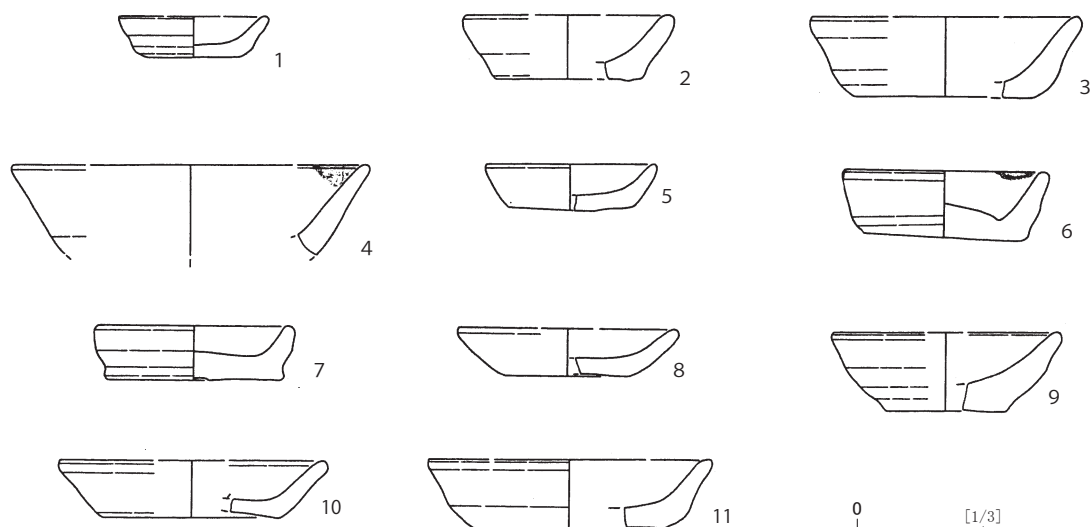
SX-02



小野並木遺跡

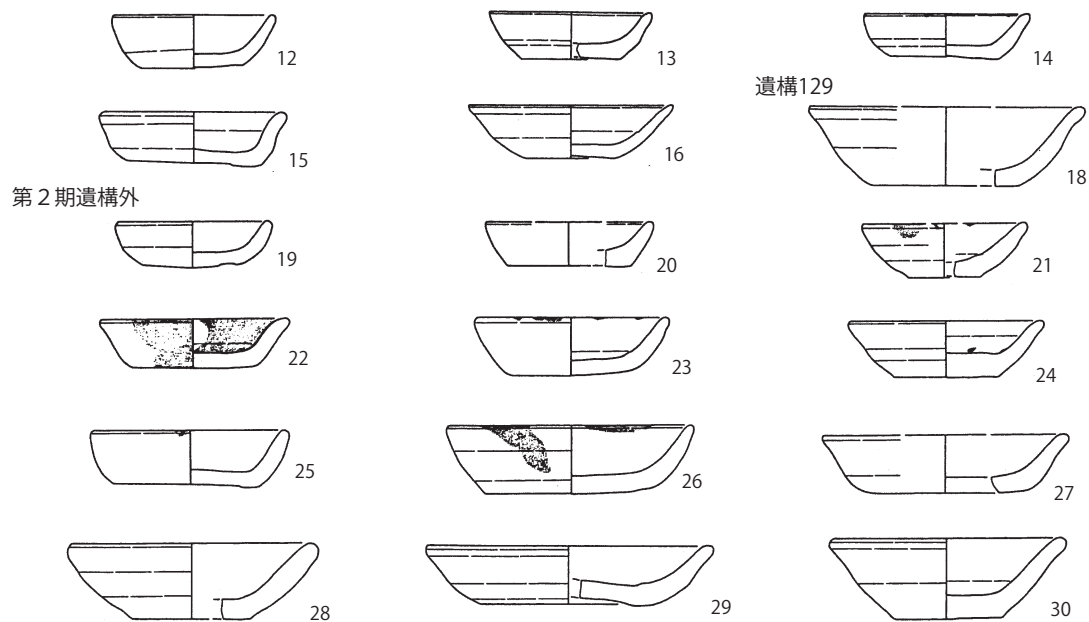
遺構1

第1期焼土層



第1図 かわらけ(1)

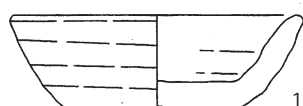
神奈川県の中世遺跡（5）



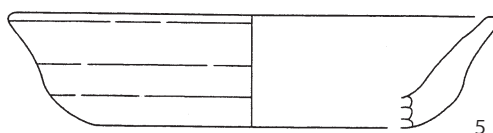
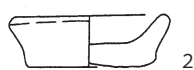
恩名沖原遺跡
2号溝状遺構



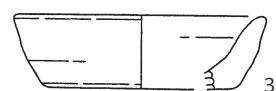
中依知遺跡群
2号塚



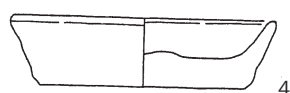
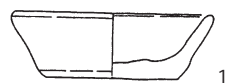
A区遺構外



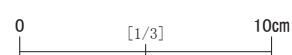
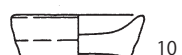
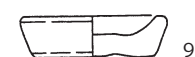
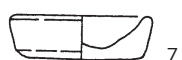
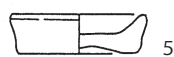
A 2号地下式坑



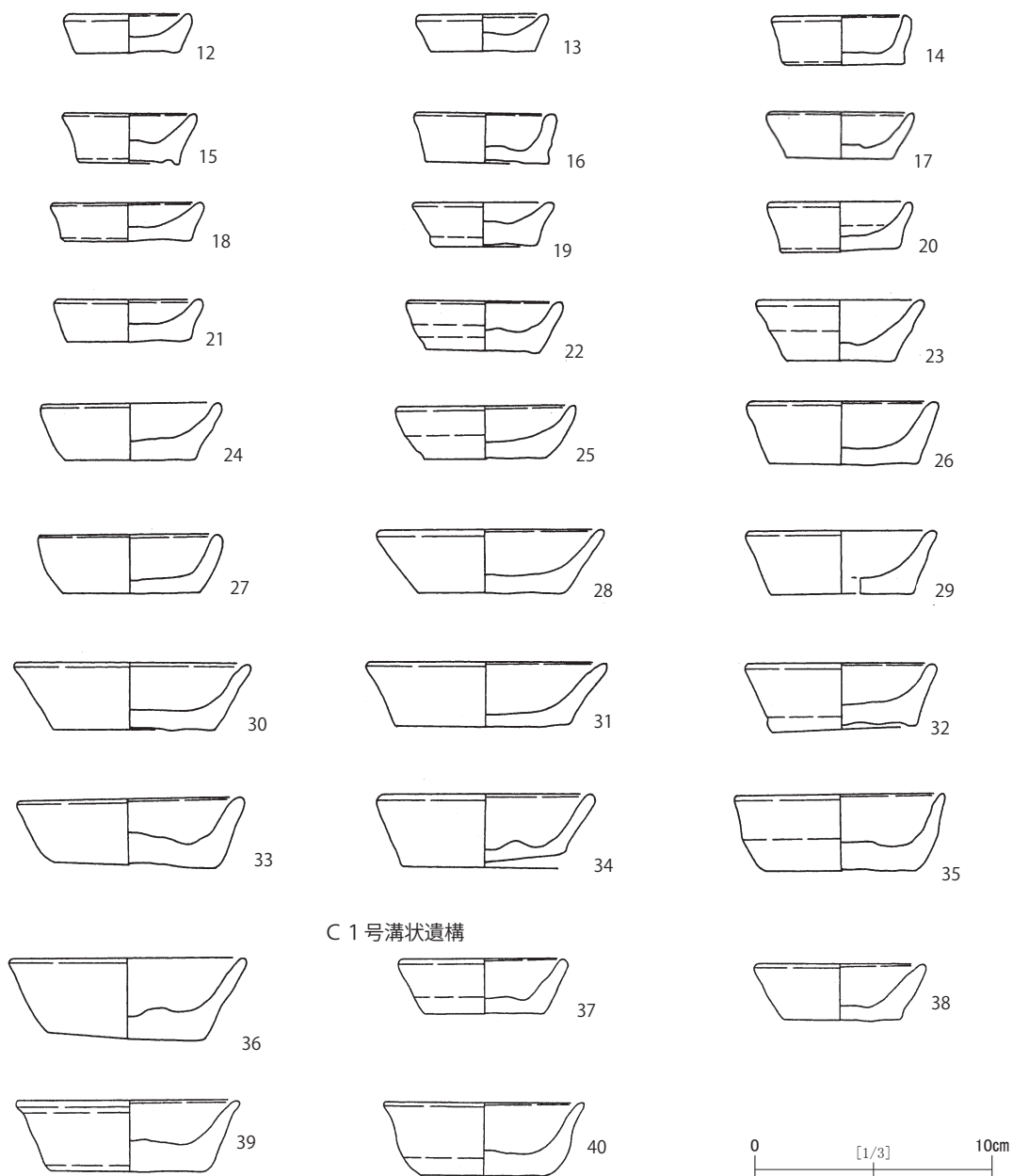
林北遺跡第3地点
試掘調査



C 1号溝状土坑



第2図 かわらけ(2)



第3図 かわらけ(3)